

製品名: シクラーゼ VIII ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06358**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	ADCY8
別名	ADCY8; Adenylate cyclase type 8; ATP pyrophosphate-lyase 8; Adenylate cyclase type VIII; Adenylyl cyclase 8; AC8; Ca(2+)/calmodulin-activated adenylyl cyclase
遺伝子 ID	114.0
SwissProt ID	P40145
免疫原	抗血清はヒト ADCY8 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 591-640

背景

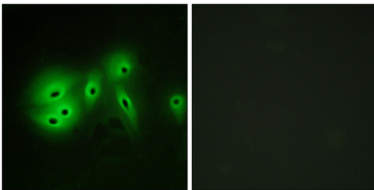
アデニル酸シクラーゼは、ATP から環状 AMP (サイクリック AMP) の生成を触媒する膜結合型酵素です。酵素活性は複数のホルモ

ンによって制御されており、様々なポリペプチドが受容体から触媒部位へのシグナル伝達に関与しています。刺激性受容体 (Rs) または阻害性受容体 (Ri) は、GTPase 活性を示す G タンパク質 (Gs および Gi) と相互作用し、アデニル酸シクラーゼの触媒サブユニットの活性を調節します (RefSeq 提供、2008 年 7 月)。触媒活性: $ATP = 3',5'$ -環状 AMP + ニリン酸。補因子: サブユニットあたり 2 個のマグネシウムイオンを結合。酵素調節: カルシウム/カルモジュリンによって活性化。機能: これは膜結合型で、カルシウム刺激性のアデニル酸シクラーゼです。学習、記憶、薬物依存に関与している可能性があります。類似性: アデニル酸シクラーゼクラス 4/グアニル酸シクラーゼファミリーに属します。類似性: 2 つのグアニル酸シクラーゼドメインが含まれます。、

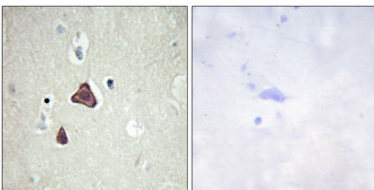
研究分野

プリン代謝、カルシウム、ケモカイン、卵母細胞減数分裂、血管平滑筋収縮、ギャップ結合、長期増強、味覚伝達、GnRH、プロゲステロン媒介卵母細胞成熟、メラニン形成、拡張型心筋症。

画像データ



ADCY8 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



ADCY8 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。